

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

中国研修旅行

「みらい学」集大成の地を中国に求めて

広大な国土、中国

文理科学科第1期生による中国研修旅行が、6月16日(月)より5泊6日の日程で実施されました。昨年から中国に関連する報道により、研修旅行の実施を心配する声もありましたが、今回の目的地、北京で



天壇公園での記念撮影

滞在中に、心配された影響や混乱はなく、当初の日程を無事に終了することができ、様々な面で大きく成長することができました。歴史と社会の発展が融合する近隣国であることが、「みらい学」の集大成の学習の場として最もふさわしいといったことからでした。北京近郊には日本国内でも有名な名所旧跡が多くあります。これまで教科書や資料集等で紹介されていた場所に実際に立ち、眼下に広がる光景から、現地での学習することの意義を学び、実物に触れ体感する迫力を共有し心に刻む研修旅行となりました。

歴史・発展 実体験

今回の研修地として中国を設定したねらいは、中国が悠久の歴史を有し文化遺産等も豊富であるというこ



万里の長城のスケールを実感

国境を越えた

学び・交流

また、北京市内の大学及び企業の訪問、現地の高校



交流会での着物アトラクション

生との交流会などで充実した時間を過ごし、学問や技術、友情の交流などを通して、国境を越えた大きな充実感を味わいました。

アジアの

仲間として

多くの出会いや体験があった中で、特に印象的だったのが北京師範大学附属中学(北京の高校に相当)との交流会でした。国境を越えた友情や信頼関係を築くことができました。さらに、事前の取組として、募金活動を実施しました。中国四川大地震の被災者の方々のために、福知山市内のシヨッピングセンターで協力を呼びかけ、いただいた義援金(18万5272円)を



募金活動

交流会の式典の中で手渡すことができました。自分たちができることを考え、自分たちの手で、アジアの隣国としての絆を強めることができました。また、その翌日には中国紅十字会から感謝状が旅行団に届けら



れ、自分たちの活動が意義深いものであったことを確信できる貴重な体験となりました。今回の募金活動には、福知山市内外の多くの方々に御協力をいただき本当にありがとうございます。

みらいを切り拓く

確かな足跡

今回の研修旅行の成功に



交流会後のグループ別交流

向けての事前取組、旅行中の様々な体験は大きな財産となりました。文理科学科1期生のフロントイア・スピリットによって、「みらいを切り拓く大きな足跡」を残し、次年度につながる充実した研修旅行となりました。この貴重な経験を決して忘れることなく、みらい学の研究や希望進路の実現に、これまで以上に力強い姿勢で邁進してほしいと思います。